



## 国際コーディネーターより（要約）

ASPnet コミュニティの皆様  
ナショナルコーディネーターの皆様  
教員・児童および生徒・保護者の皆様

2020年最後のニュースレターになりました。本年は未曾有の課題に直面しつつも、ASPnetのコミュニティ内では、未だかつてないほどに連帯し、支えあい、コミュニケーションを取り合った一年であったことを誇りに思います。5月に開催したグローバルウェビナーをはじめとする数々のウェビナーなど、さまざまなイベントやコミュニケーションを通してお互いに「出会った」ことは、非常に特別で実り多い体験となりました。児童・生徒の皆様、教員や保護者の皆様からはイベントだけでなく、このニュースレターにも多くの刺激的なご意見をお寄せいただきました。心より感謝申し上げます。

本号では、「教育における差別待遇の防止に関する条約」締結60周年を記念し、教育を受ける権利の大切さと世界中で取り組まれている差別に対する動きについて取り上げます。我々はユネスコの同僚らと共に、学校やご家庭での話し合いのきっかけづくりに、この条約や教育を受ける権利に関するさまざまな側面についての情報をまとめたパッケージを作成しました。アドバイスとご協力をいただいた Gwang-Chol Chang と彼の教育を受ける権利チームに感謝申し上げます。

また、いつものように、最近開催され、非常に前向きなフィードバックをいただいた第2回 Change Initiative for Teacher Training Institutions（教員養成機関向け変革のための取り組み）ウェビナーなど、ASPnet 関連のニュースや最新のユネスコの活動についてもお報告します。

国際コーディネーターチームを代表し、一年を通し皆様からいただいた貴重な貢献に感謝し、平和で健康で安らかな年の瀬を迎えられますようお祈り申し上げます。また、来年も引き続きよろしくお願いたします。

追伸：差別にノーを訴える心のこもった生徒からの特別なビデオメッセージも是非ご覧ください。

## 主なコンテンツ

- ◆ 教育政策セクションチーフ（Chief of the Education Policy Section）Gwang-Chol Chang からの特別メッセージ  
[ビデオメッセージ](#)、[メッセージ文](#)、[略歴](#)

◆ 差別に対するユネスコの取り組み

「教育における差別待遇の防止に関する条約」締結 60 周年を記念して

ユネスコの「[教育における差別待遇の防止に関する条約](#)」は、2020 年 12 月 10 日から 14 日の期間、同条約の 60 周年記念を祝います。この条約は、教育 2030 アジェンダの基礎であり、SDG4 を推進する上での強力なツールです。イベントの詳細については[こちら](#)。

◆ ASPnet の声

教育における差別待遇に対する証言として、ポルトガルのユネスコスクール Escola Secundária Filipa de Vilhena の生徒である Tomás Casals Namura Borges Pinto が、差別により自身の兄弟が教育のすべてにおいて深刻な影響を受けたことを話してくれました。[ビデオを見る](#)。

◆ 教育を受ける権利

● 教育とは何か？

ユネスコは、教育を受ける権利とはどのようなことなのか、若者や子どもたち、そして保護者の方々にその意味を十分に理解してもらうために尽力しています。そのために、[この権利が尊重され、推進されるよう各国政府と連携しています](#)。一方で、自分の権利は自分自身が行動を起こすことで守られるものです。理解を深めるためのリンクをご紹介します。

[教育を受ける権利について知るべきことは何か？](#)

[国の義務や責任にはどのようなものがあるか？](#)

[Right to Education handbook（教育を受ける権利ハンドブック）とはどのようなものか？](#)

[この権利を推進するために、最近どのようなことが行なわれたか？](#)

教育を受けることは基本的な人権であり、ユネスコの使命の核心にあり、1948 年の世界人権宣言ほか、多数の[国際的な人権に関する法律文書](#)で法制化されています。

また、教育を受ける権利は[教育 2030](#) アジェンダや SDG4 を支える基本原理の一つです。しかし、[何百万もの子どもや大人](#)は、社会的、文化的、経済的な要因で今なお教育の機会を奪われています。

● 国はどんな対応をしているのか？

「教育における差別待遇の防止に関する条約」を履行するために各国はどのような対応をしているのか、我々は定期的に加盟国と話し合っています。[履行に関する各ユネスコ加盟国との 10 回目の審議](#)は、2020 年初めに始まり、2021 年の終わりまで続きます。各国の取り組みについては[教育を受ける権利の観測（Observatory on the right to education）](#)で見ることができます。

教育を受けること自体が社会的に疎外された子どもや大人をエンパワーし、貧困から抜け出し、社会に完全に参加することを可能にする強力なツールとなりますが、そのためには、[公平な機会と普遍的アクセス](#)（誰もが教育を受けられる状態であること）が必須です。[国連とユネスコの規範的な法律文書](#)はすべての人々が質の良い教育を享受する権利を認め推進する、国際的な法的義務を定めています。この法的枠組みは、[教育を受ける権利を推進する](#)上で加盟国と国際社会にとって非常に重要です。

ユネスコは、質の高い教育の提供と持続可能性の基礎となる各国の法律・政策の枠組みの策定をサポートしています。各国政府は、すべての人に質の良い教育を提供し、より効果的に[教育政策や戦略](#)を実施・モニターできるよう、自国の法的・政治的義務に責任を持たなければなりません。

- ジェンダー不平等に関して・・・  
[ユネスコ 彼女の地図帳：女兒および女性の教育を受ける権利の地図帳 \(UNESCO's Atlas of girls' and women's rights to education: Her Atlas\)](#)
- もっと知りたい人のために・・・  
[難民の教育を受ける権利](#)  
[先住民の教育を受ける権利](#)  
[障害者の教育を受ける権利](#)  
教育を受ける権利に対する[気候変動による移住の影響](#)
- もっと行動したい人のために・・・  
[教育における差別待遇にノーと言おう！ \(Say no to discrimination in education!\) #RightToEducationcampaign](#)
- あなたやあなたのネットワークができること  
[教育を受ける権利を推進するためにどんなことができるだろう？](#)

#### ◆ 最近と今後のユネスコの活動

- 2020年世界エイズ・デーに向けたオードレ・アズレユネスコ事務局長のメッセージ  
[英語](#) [フランス語](#) [スペイン語](#) [ロシア語](#) [アラビア語](#) [中国語](#)  
世界エイズ・デーと関連するイベントについては[こちら](#)。
- ユネスコウェビナー#10：ハイブリッド型学習のアプローチ  
12月16日（グリニッジ標準時15時）開催のウェビナー詳細は[こちら](#)。
- マララ・ユスフザイ、女兒の教育を守るため、ユネスコのコロナ禍における国際的な教育連合（Global Education Coalition）のキャンペーンに参加  
教育活動家であり、マララ基金の共同創設者でもあるマララ・ユスフザイは、ユネスコのコロナ禍における国際的な教育連合が立ち上げた[女兒に焦点をあてる \(Keeping girls in the picture\)](#) キャンペーンに参加。関連するビデオは[英語](#)のほか、[ウルドゥー語](#)、[スペイン語](#)、[フランス語](#)、[ポルトガル語](#)、[トルコ語](#)、[アラビア語](#)、[ダリー語](#)、[パシュト語](#)で視聴可能。詳細は[こちら](#)。
- 教員タスクフォース（Teacher Task Force, TTF）による地域のバーチャルミーティング  
2020年5・6月に開催された遠隔学習と学校再開に関する地域ミーティングを受け、TTFは関連組織やパートナーらと共に、[世界教師デーのお祝い](#)の期間中、新シリーズのディスカッションを始めました。[コンセプトノート](#)と[その他の情報](#)をご参照ください。
- オンラインワークショップシリーズ「パンデミック下でどのように持続可能な開発のための教育(ESD)を継続するか」  
ユネスコの[オンラインワークショップ](#)シリーズの「[コロナ後の世界に向けた変革を促す ESD の力 \(transformative power of Education for Sustainable Development\(ESD\) for the world beyond Covid-19\)](#)」第2弾として、2020年10月14日に実践者がESDをデジタルおよびリモートの環境に統合する工夫や、ESDを継続するための体制の構築の仕方について体験を共有しました。詳細は[こちら](#)

#### ◆ ASPnet からのお知らせ

- ASPnet Change Initiative（変革のための取り組み）-教員養成機関との第2回ウェビナー

2020年11月19日、第2回ASPnet Change Initiative（変革のための取り組み）開催され、87名が参加しました。ウェビナーではベルギー、フィンランド、日本、ナミビア、ジンバブエの教員養成機関が自国の持続可能な開発のための地球市民教育についての優良事例を紹介し、各国教員養成機関が意見を交換する貴重な場となりました。ウェビナーのレポートは[こちら](#)。

- ASPnet と超学際的教育

2020年11月27日、学際的教育に関する第3回世界フォーラムがローマで開催されました。テーマは「[地球市民のための超学際的教育 \(Transdisciplinary Education for the Citizens of the Earth\)](#)」で、イタリアのASPnet ナショナルコーディネーターが企画し、イタリアのユネスコスクールが参加しました。超学際教育的文脈におけるASPnetの取り組みについてのJulie Saito（齋藤珠里）の発表全文は[こちら](#)。

- ◆ ASPnet 国際コーディネーターチームより皆様への年末のご挨拶



Greetings from the International Coordination Team of ASPnet

私たちのネットワークを構築・強化し、互いを励まし思いやる、皆様からの連帯のメッセージなどを、文章、絵、ビデオ、その他のアート作品にしてお送りください。

また、皆様の学校外、家族内での体験や革新的な学習方法を [aspnetinaction@unesco.or](mailto:aspnetinaction@unesco.or) まで、[consent form](#)（同意書）を添付してお寄せください。

ASPnet チーム：

Julie Saito, Fouzia Belhami, Melanie Seto, Katja Anger, Simon Wanda, Helene Darne, Kangni Chen,  
Erik Eschweiler, Alba Moral Foster

Get connected: <https://aspnet.unesco.org>

Contact us: [aspnetinaction@unesco.org](mailto:aspnetinaction@unesco.org)